

英語Ⅱ	1年・後期	2単位	准教授 三沢 幸子
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310221

1. 授業のねらい・概要

英語を用いて必要な情報収集とコミュニケーションができる能力を養い、国際社会において自分の意見を表現する手段を身につけ、グローバルな考え方や豊かな人間性を育むことを目的とする。

2. 到達目標

1. 英語を用いてコミュニケーションする楽しさを知る。
2. 英語のリズムとアクセント、発音、フレージングを学び、通じる英語を身につける。
3. 専門英語を学ぶための基礎を作る。
4. 国際社会に積極的に参加できる能力を養う。

3. 授業の進め方

状況に応じたコミュニケーション能力を身につけるための会話練習、英文の内容を読み取る力を身につけるためのリーディングを行う。自分の話す英語を理解してもらうためには、英語特有のリズム感、アクセント、フレージングに慣れ親しむ必要がある。リスニングでは、英語を聞き取って理解する力を養い、英語のリズムを体感し、それを通して理解される英語を話す力を養う。

4. 授業計画

1. 会話のはじめ方・終え方/物語を読む	9. 電話での会話/余暇の過ごし方を述べる・興味を示す
2. 外見・性格描写	10. 誘う・誘いに答える/誘いの断り方
3. 頻度を述べる/経験を話す	11. 謝罪する・受け入れる/過去の出来事
4. 指示を与える・注意を促す/サービスを評価する	12. 好みについて述べる/禁止と義務
5. 注文の仕方/健康状態について述べる	13. 交通機関についての情報を得る/習慣について述べる
6. 助言を与える・求める/理由を述べる	14. 考えを尋ねる・提供する/頼む
7. 比較する/能力について述べる・助言する	15. 使用法説明/意見を尋ねる・述べる
8. 必要性について話す/賛否を述べる	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 60%，課題 20%，積極的な授業参加度 20%。

6. テキスト・参考文献

Jack C. Richards / David Bohlke: "Speak Now 2" Oxford 出版
他にリーディング教材を配布する

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

今回の講義で学習する箇所を最低でも 30 分かけて読んでおくこと。意味や発音のわからない単語を、きちんとしらべておくこと。学習した会話を最低 30 分間友人と練習すること。

8. 受講上の留意事項 (先修条件がある場合は 8. に記入する)

配布教材をファイルするためのバインダーを用意すること。英和・和英辞書(電子辞書など)は必ず準備し、講義には携帯する。スマホの使用は認めない。
積極的にペアワークを行い、活発に発言して、英語を話すことに挑戦すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

採点し、返却する。返却時に正答を伝え、講評を述べる。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。